



## 平成15年度の出発に当たって

会長 中田 秀雄

野田市国際交流協会も創設7年目を迎え、又野田市50周年に次ぐ関宿町との合併による大きな節目を迎えることになりました。

千葉県内の32の協会の中では4番目に若く、小規模ですが、学齢からいけば中学生になりました。そして、高校生になる時は次の大きな節目である10周年記念を迎えることとなります。

今年度の重点項目としては、昨年の ①会員の増加、②友好都市計画の基礎づくり、③国際化教育の推進を継続し、野田市・関宿町に関連する活動の拡充を推進したいと思います。この3項目の本質は、我々の国際化と在留外国人への支援であり、又それ等を如何に楽しく推進するかということに尽きるといえます。

新野田市の人口は約153,000人、その内登録外国人は約1,600人で人口の約1%に相当します。千葉県の1.4%に比べれば少ないとは言え、1,600人という多くの外国人が住んでいるのが実体です。そういうことからすれば、国際交流の対応の仕方としては、あたかも自分が外国に居るかのようを考えれば良いのではないかと考えます。

今世紀に入り Internationalization (国際化) から Globalization (地球化) への進展とは裏腹に、米国に於ける同時多発テロは世界的な新たな諸問題を発生させ、我々日本人にとっても他人事では無くなりつつあります。しかし、世界平和の基礎はあくまで人と人との相互理解を原点とする草の根活動であります。皆様のご協力を得て楽しく地道な活動を継続したいと思います。

副会長 酒井 幸子

副会長 古川 滋

野田市国際交流協会も早いもので、今年で設立7年目を迎える事になりました。これまで大勢の市民の皆様や会員の方々によるご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

今日いろいろな分野で国際化がすすんでおり、私達の生活の中でも外国を切り離して考える事が出来なくなってきております。こうした中で地域における市民レベルの国際交流の果たす役割は大きくなって来ているとおもいます。

6月6日野田市と関宿町との合併により約3万1千人が、新しい野田市民となりました。この機会に異文化の素晴らしさをより多くの方々に知って頂くと共に、市民主体の国際交流活動の更なる発展を目指し、努力して参りたいと思います。

私が、当協会に入会したのは、七夕祭りで現副会長の酒井さんから声をかけられたのがきっかけでした。

外国の姉妹都市との交流は、面白そうだと勘違いしての入会からもう5年たちます。

その間、当活動にご賛同いただいた企業や友人、会員の皆様のご支援には深く感謝いたします。

近隣の協会から得た情報に基づいて、作ったプログラム「留学生が先生」も既に3年目になり、ほとんど寝かっていたホームページもなんとか更新できました。

今年は、ホームページに色々な情報(例えば外国旅行体験記)を載せたり、海外友好都市作りを考えたり、関宿地区の会員増(30名目標)に力をいれたいと思っています。

### 事務局

事務局長 桑原 時夫

本年度は関宿町と合併し、約3万人の人々が加わり、新生野田市として15万都市になりました。国際交流活動も新しい仲間を迎え、活動の範囲も拡大されることとなります。秋には冠事業である野田市・関宿町国際交流フェスティバル2003(仮称)を実施する中で、各部の活動を紹介し、市民の交流と会員増加を目指し、国際交流活動の活性化に努力したく思います。

一方、県や東葛地区では、国際交流活動、日米草の根サミット、手賀の丘少年の家まつりにおける国際交流のつどい等が計画されて益々外部への対応も重要になりつつあります。

世界的な経済問題に加え、湾岸戦争、同時多発テロ、イラク戦争、インドネシア、スリランカ、北朝鮮問題等、他人事ではない問題が続発していますが、我々は、在住外国人及び諸外国の人々と心の「ふれあい」を原点として、協会内、近隣協会間との連携を深め、一人一人の能力が十分に発揮できるようなシステム、事務関連のIT化を皆様の協力を得て推進したく考えております。

### 総務部

部長 東原 聖二

現在の総務部は、協会の広報活動が主な任務で、いかに多くの人に協会の活動内容を知らせるかという事に精をだし

ています。その手段としては、次の3方法がとられています。

- ① 機関紙の発行
- ② インターネット・ホームページの掲載
- ③ 写真展による活動の紹介

一方、広報といえば当然、取材活動がつきものですが、人手の関係から取材にまでは手がまわらず、皆さんからの情報提供（行事報告、感想文、投稿文など）に頼っているというのが実体です。

こういう中で、今年の活動テーマは、

- ① 広報内容の充実
- ② 合併にともなう関宿地区への広報拡大

の2項をテーマとしました。

今年は、取材活動に少しは力を入れたいと思っていますが、まだまだ皆さんからの情報提供に頼らざるを得ませんのでよろしくご協力下さい。

### 友好交流部

部長 小川 好江

野田市国際交流協会も創立7年目を迎え、野田市も関宿町との合併による大きな節目を迎えることになりました。

昨年度は、教育委員会と皆様のご協力により小学校、中学校の国際理解教育、及びホリデーホームステイプログラムも予定通り終了させるとともに、質の向上と行事の拡大をも図ることが出来ました。

昨年から学校教育においては、子供達が“自ら学び、自ら考える力”を身につけるようにと従来の教育学習に加えて、「総合的な学習の時間」が取り入れられました。そういう中で私達は、社会に出てからでは遅すぎると、感性豊かな小・中学校時代に外国人と接し、異文化を心から理解し、幅広い視野を持つ国際人に成長してくれる事を願って国際理解教

育プログラム等を計画して参りました。

今年度も、皆様のご協力を得て楽しく堅実な国際友好交流活動を推進し、新生野田市民に貢献できるように努力したいと思ひます。

### イベント部

部長 桑原 時夫

イベント開催は、会員同士の親睦を深める場でもありますが、それと同時に広く一般市民に国際交流協会の存在を知らせ、参加加入を呼びかけていく貴重な機会です。

何かを学びたいと思っている人、日本人と知り合うきっかけを求めている人、外国の人と話したいと思っている人など、いろいろな人に呼びかけ、益々国際交流協会が発展するように皆様と力を合わせPRを工夫していきたいと思ひます。

新年度早々新部員の加入もあり、幸先のよいスタートが切れたことを喜んでいきます。

### 語学学習部

部長 松村 芳郎

平成15年度の語学学習部は、先輩方が築いて来られた暖かい雰囲気日本語教育路線を継承しながら、「学習者と心の通い合う授業をすることで、日本をより好きになって貰い、その結果として日本語運用能力の向上に導いていける、そんな日本語教室を目指します。

これを実現するためスタッフ一同が互いに協力・研鑽し、現在の開催日程やカリキュラムを再検討する等、学習者の多様なニーズに応える体制を整備して、受講者の満足度をより高める事に努めていきます。

\*\*\*\*\*

## 平成15年度総会

4月26日(土)、協会の平成15年度総会が開かれました。

中田会長から、本年度の活動抱負として、特に関宿町との合併にかかわる組織・活動のあり方などが述べられた後、来賓として根本市長から、外国人との友好には、言葉や文化の違いをのりこえた心と心のふれあいが大切であること等、国際交流活動に大いに期待している、とのお言葉をいただきました。

次いで議事にはいり、議題として

- ① 平成14年度の事業報告、決算報告
- ② 平成15年度の事業計画案、予算案

(本年度は、関宿町との合併に伴う記念行事や組織の拡充および活動地域の拡大などをおりこんだ計画になっている)

が審議され、提案どおり承認されました。

\*\*\*\*\*

## 平成15年度の体制

### 役員

会 長	中田 秀雄
副 会 長	酒井 幸子、古川 滋
事務局 長	桑原 時夫
会 計	石川 智子
監 事	山本 武夫、中山 禎子
書 記	安広 美和子、原 文子

### 専門部

部	部 長	副部長
総 務 部	東原 聖二	村田 三枝
友好交流部	小川 好江	柳沢 浩
イベント部	桑原 時夫	間中 美代子
語学学習部	松村 芳郎	下川 明男、永田 光代、東原 聖二

## 柳沢小国際理解教育の感想文

平成15年2月4日、柳沢小学校で6年生を対象に行われた国際理解教育の感想文がゲストティーチャーから寄せられました。原文は英文なので意識してあります。

### マイケル・コンリスク (アメリカ)

柳沢小学校で、先生方やNIAの皆さん、更に児童達と素晴らしいひと時を過ごすことができましたことを感謝いたします。

授業では、私が学生時代に学んだアメリカの少数民族の歴史について話しましたが、児童には少々ショックを与えたようでした。

しかし、それよりも興味深かったことは、授業での児童の態度と先生の行動がアメリカとは大いに違ったということです。質疑応答時の児童達の表現の仕方やその様子には少々グハグサを感じましたが、総じて皆、素直でおとなしく控えめに思われました。アメリカでは、この年齢の子供達は、しばしば授業を受けることを拒んだりして、先生の反応を見て、大人の行動を学ぼうとします。中には、反抗的な態度をわざと取って、仲間からのウケをねらおうとすることもあります。

一方、先生が未だ質問をしていない児童を指名して、質問を促したことに驚きました。アメリカでは、名指しをする場合は、授業を聞いていないと思われる者に対して行います。

このようなアメリカとの違いを実感できる日本の教育現場に触れることが出来たこと、更に少数民族の歴史を通じての文化の交流が出来たこと等、私の貴重な経験となりました。こういう機会を与えて下さいました皆様に感謝いたします。

### ムハッド・アミン (マレーシア)

柳沢小学校の国際理解教育の企画は、素晴らしいことであり、ゲストティーチャーとして招かれた私達(私ともう一人のサイドウ・フセイン)にとって、大変興味深いことでした。

私達が嬉しかったことは、参加した生徒達が大いに喜んでくれたことです。又生徒達の皆様が私達の話を十分に理解してくれたことは、本当に驚き(良い意味で)でした。

実際には、見たことも無く触れたことも無い他国の「歴史」

や「美しさ」などを理解する上で、この授業は大いに役立つであろうことは疑う余地がありません。

生徒達の皆様が将来色々な分野で活躍し、成功されますよう期待して止みません。こういう有意義な企画をされた学校・野田市国際交流協会に深く感謝いたします。ありがとうございました。

### 青戸 貞愛 (韓国)

先日は、楽しいひと時を過ごすことが出来、ありがとうございます。お昼までご馳走になり、恐縮しております。

南部小の時に比べ時間が短かったので、割と楽しかったような気がします。子供達も好奇心が旺盛で、色々なことに興味を持ったようです。特に自分の名前をハングル文字で書いてほしいとの希望に応えたため、後半の時間が足りなくなってしまいました。6年生だったため話の内容もよく理解してもらえたように感じました。

今後の参考のため、他の講師の方の授業を聞いてみたいと思いますので、そのような機会があればお手伝いしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



## 昔の文化にふれて感激

—— 房総のむらを訪ねて ——

### 日本語教室学習者(中学生) 王 洋 (中国)

今日は、3月2日です。私達は、市役所のバスで「房総のむら」に行きました。今日はとても寒かったです。そして、朝10時「房総のむら」に着きました。

伝統的な建物が並んで建っていました。自分は古代に戻ったような気がしてとても不思議でした。そして、外国から来た私は日本の古代の將軍の服を着ました。女性の將軍の服で、とてもすてきな服でした。服を着たら自分はホンモノの將軍になったと思いました。だけど、大変なことは、服が大変に重かったことです。あと服の着方も難しかったです。ですけど、私にはこの服はすてきで、また着たいです。

そして、皆さんと昼ご飯を食べました。食べながら、「房

総のむら」の中で何かをやった事と見た事の話をしました。とても楽しかったです。

昼ご飯のあとで、房総博物館に行きました。中では古代の焼き物を見ました。説明も読み珍しいと思いました。お手玉という名前は初めて聞きました。どんな材料で作ったのですか、どのようにやるのですかと色々な質問をしました。そして、本当に自分で作りました。お手玉はとても小さく、作り方は二通りあります。一枚の布で作るのは簡単ですが、四枚の布で作るのはちょっと難しいので、私は一枚の布で作りました。小さくて可愛いです。あと、やり方も難しかったです。片手で二つのお手玉をやるのは、とても難しかったです。とても楽しかったです。そして一緒にやるのも楽しかったです。そして、写真を撮った後、バスで市役所に帰りました。



陳 銹綾 (台湾からの留学生)

日本は、経済の発展とともに、伝統的な古典文化もきちんと守っているということは、世界中に知られています。例えば、演劇の歌舞伎や競技の相撲や文学の俳句や芸術の生け花など、いろいろな領域のものがあります。今度のバスツアーで「房総のむら」を見学の機会を与えてくださった野田市国際交流協会に心から感謝しています。

貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。

「房総のむら」では、日本の伝統的な建築物、農家と武家屋敷と昔の畳屋、茶屋、紙屋などのさまざまな商家を見て、昔の日本人の日常生活を知ることができるようになりました。そして、いろいろな文化的な活動、蝋燭飾りとお手玉作りの体験ができて、すごく楽しかったです。初めて真の意味で伝統的な日本文化に近づけたように感じていました。

## 国際理解授業 「留学生は先生」 福田中学校で実施

友好交流部 岡田 陸子

< 授業を聴講した笠井 白水さん

(日本語教室学習者 中国生まれ)の感想 >

3月20日(木)福田中学1年生110名を対象に韓国から東京外国語大学大学院に留学中の曹 圭福(チョウ キュウボク)さんを講師としてお招きし、国際理解授業を行いました。

韓服(パジチョゴリ 女性の服はチマチョゴリ)を身につけた圭福先生のアンニョンハセヨの挨拶に生徒達も元気にアンニョンハセヨの挨拶を返し、打ち解けた雰囲気の中、

日本と韓国は2時間で行ける近い距離にあり、韓国人は日本人と変わらない顔をしていること。

韓国の教育も日本と同じ6:3:3制で、パソコンゲームやコンピュータに人気があるが、一輪車に乗る子供は稀であること。

ご飯、味噌汁、キムチ、ビビンバ等日本でも馴染みの食べ物を食べるが、食べ方は日本と違い、茶碗を持って食べてはいけないこと。

一般的に辛い食べ物のイメージが強いが、ムル(水)キムチと言って辛くないキムチもあること(試食用に持参されました)。

日本と同じように四季があり、冬は日本より寒いがおンドルという合理的な暖房がある為、部屋の中は日本より暖かいこと。

日韓の関係は過去の戦争で傷つき、長い間その苦しみを忘れることが出来ず、友好的でない時期もあったけれど、隣人としてお互いに仲良く交流を深めていきたいこと。

等、流暢な日本語で話して下さいました。

最後の質疑応答では、質問者に韓国のポップジンカーのプロマイドがプレゼントされると聞いて質問が殺到し、時間が足りなくなるほどの楽しい授業でした。

奇しくもこの日イラクで戦争が始まってしまいました。世界が平和であることを願って止みません。

3月20日、福田中学校の国際理解教育報告会に参加しました。報告会で韓国留学曹圭福講師がすてきな韓服を着て韓国の服装や言葉、食文化などについて紹介してくれました。

日本は韓国と一番近い国で生活文化や習慣の違いもあります。日本の畳文化と韓国の「オンドル」文化などは、その代表かも知れません。

ワールドカップ後、日韓関係もさらに両国の交流が深まるよう願っています。



\*\*\*\*\*  
編集後記

定例の総会も開かれ、新体制も決り、平成15年度がスタートしました。また、野田市も6月6日に関宿町と合併し、新しい市に生まれかわりました。当協会も関宿地区へ活動の輪を広げた組織に変身しなければなりません。今回は、このような状況での役員並びに各部長の抱負を含めたあいさつ文を掲載いたしました。

<東原聖二>

◆ 協会案内 ◆ 私たちといっしょに国際交流しましょう。どなたでも気軽に参加できます。お待ちしております。

【年会費】個人会員 2,000円 家族会員 3,000円(家族何人でも) 賛助会員(1口) 10,000円 学生会員 1,000円

野田市国際交流協会 〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1 野田市役所 企画調整課内

TEL: 04-7123-1065

FAX: 04-7122-1557

URL: <http://www.vivid-net.ne.jp/~nia/>